

実験用静止通信衛星「あやめ2号」の不具合について

(宇宙開発委員会委員長談話)

一 去る二月、静止軌道投入の段階で不具合を生じ、所期の目的を達成するに至らなかつた実験用静止通信衛星「あやめ2号」につきましては、宇宙開発委員会は、第四部会におきまして、原因究明及び今後の対策に係る技術的事項の調査審議を鋭意進めて参りましたが、本日、その調査結果の報告を受けました。

二 同部会におきましては、電波途絶までに得られたデータを手がかりに、打上げ前の試験。検査データ、設計データ、米国での調査結果等を踏まえ、幅広いかつ詳細な検討が行われ、その結果、今回の不具合は、衛星に組み込まれたアポジモーターが異常燃焼したことが原因となつて衛星が破損し、遂には電波が途絶するに至つたものと考えられております。

三 宇宙開発委員会といたしましては、第四部会の報告書で指摘されているアポジモーターに関する非破壊検査方法の改善、アポジモーターの早期国产化及び信頼性判定基準を確立するための研究の推進等、所要の対策を進めるとは極めて重要であると考え、今後その推進を図つて参る所存であります。また、昭和五十六年夏に打ち上げる予定の静止気象衛星2号につきましては、アポジモーターに関する検査の徹底を図るほか、衛星全体にわたる再点検を実施し、その打上げに万全を期すとともに、現在開発を進めている他の衛星につきましても、今回の経験を反映させつつ開発を進めて参りたいと存じます。

更に、今後、我が国の宇宙開発を進めるに当たりましては、自主技術の開発を関係機関の総力を結集して強力に推進することとし、このため、研究開発の強化拡充、開発機関と試験研究機関とのより緊密な連携等を図るとともに、信頼性評価機能を強化する所存であります。

四 最後に、宇宙開発委員会といたしましては、今回の貴重な経験を今後の宇宙開発に十分活かし、我が国の宇宙開発の着実な進展を図ることが責務であると考え、引き続きその実現に努力を傾けて参る決意でありますので、国民の皆様方の裕段の御理解、御支援を賜われますようお願い申し上げます。

昭和五十五年六月十二日

宇宙開発委員会委員長

長 田 裕 二